

幼いころ

大宮は一つの憧れだった。
当時、大宮にしかなかった
デパートでお子さまランチを食べ
大宮公園で遊ぶなんて
子どもにはぜいたくすぎる
ご褒美だった。

浪人し

予備校に通ったのも大宮だ。
電車が与野駅をすぎる頃
車窓の風景が

けやき並木に変わり
やがて矢吹ジヨ一の看板がある
ボクシングジムが見えると
大宮についたと実感した。
親には悪いと思いつながら
予備校に行かず
すずらん通りを闊歩した。

今でも大宮駅を降り
人々の雑踏をみると
少なからず胸がおどる。

大宮は

いまも憧れでありつづける。

